

# 平成23年度（財）三重県体育協会事業報告

平成23年度、本協会は県内体育・スポーツの統括団体として、本県スポーツ振興に寄与するため、三重県教育委員会及び本協会加盟団体並びに関係団体との連携強化を図りながら事業に取り組むとともに、法人の基盤となる財源の確保に努め、次のとおり諸事業を実施した。

## 1 組織の強化充実

(1) 次の会議を開催し、組織の強化と運営の適正化を図った。

### ア 評議員会 3回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	23. 6. 7(火)	三重県勤労者福祉会館 講堂	1. H22年度(財)三重県体育協会事業報告(案)及び財務諸表並びに監査報告について 2. (財)三重県体育協会役員の変更について
2	23. 12. 19(月)	プラザ洞津 高砂の間	1. 新公益法人制度移行に伴う定款(案)の変更について 2. 「移行後、最初の役員」の選考及び選任について 3. H23年度(財)三重県体育協会第1次補正予算(案)について
3	24. 3. 23(金)	プラザ洞津 孔雀の間	1. 新公益法人制度実施に伴う定款の一部修正について 2. 新公益法人制度移行後、最初の役員の選任(追加)について 3. H23年度(財)三重県体育協会第2次補正予算(案)について 4. H24年度(財)三重県体育協会事業計画(案)及び予算(案)について

### イ 理事会 4回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	23. 5. 31(火)	プラザ洞津 高砂の間	1. H22年度(財)三重県体育協会事業報告(案)及び財務諸表について 2. (財)三重県体育協会役員の変更について 3. H23年度三重県スポーツ少年団役員承認について 4. H23年度国民体育大会等の本部役員について
2	23. 12. 19(月)	プラザ洞津 未広の間	1. 新公益法人制度移行に伴う定款(案)の変更について 2. 内部管理規定について 3. H23年度(財)三重県体育協会第1次補正予算(案)について
3	24. 1. 6(金)	ホテルグリーンパーク津 萩の間	1. H23年度(財)三重県体育協会表彰被表彰者について 2. 新公益法人制度移行後の最初の代表理事、業務執行理事の選定について
4	24. 3. 16(金)	プラザ洞津 未広の間	1. 新公益法人制度実施に伴う定款の一部修正について 2. H23年度(財)三重県体育協会第2次補正予算(案)について 3. H24年度(財)三重県体育協会事業計画(案)及び収支予算(案)について

(2) 第9回三重県スポーツ人の集い

本県のスポーツに携わる指導者、選手及び行政関係者を一堂に会し、昨今のスポーツを取り巻く様々な環境や諸問題について協議し、各分野での相互理解と連携を深めるため、講演会と懇親会を開催した。

期 日：平成24年2月8日(水) 会場：プラザ洞津

参加者：177名

内 容：講演会・懇親会

演 題「アスリートのための運動・食事・睡眠」

講 師 湯浅 景元 氏 (中京大学スポーツ科学部教授・中京大学大学院体育学研究科教授)

## 2 競技スポーツの充実

(1) みえのスポーツ選手強化・指導者養成事業

各競技団体が選手の強化、ジュニア選手の育成、指導者の養成、スポーツ医・科学の活用、指導者の養成のための研修会などを実施し、国内外の大会で活躍できる選手を養成することで、競技力向上を効果的に推進する。

## ア 選手強化

### (ア) 合宿練習

実施競技：35競技団体

事業内容：競技力向上を図るため、県内合宿・県外合宿を実施した。

参加者：選手・指導者延べ4,935名

### (イ) 日常練習会

実施競技：15競技団体

事業内容：競技力向上を図るため、県内合宿・県外合宿を実施した。

参加者：選手・指導者延べ17,014名

### (ウ) 外部指導者の招聘

実施競技：1競技団体

### (エ) 研修会の参加

実施競技：4競技団体

事業内容：指導者がより高い指導力の養成を図るため、県外での研修会に参加した。

参加者：指導者延べ125名（6研修会）

## イ ジュニア選手育成

### (ア) 日常練習会

実施競技：29競技種目

対象者：各年齢層の選手を指導する指導者

事業内容：各競技種目に最大3ヶ所の拠点を設け、各拠点月2回程度定期的に日常練習を実施した。

### (イ) 合宿練習

実施競技：2競技種目

対象者：強化の中心選手及び指導者

事業内容：各競技種目が年間2回程度の合宿練習（2泊3日程度の宿泊を伴う練習を原則として学校の長期休業期間中に実施）を実施した。

## ウ トップアスリート研修会

事業内容：各種全国大会の上位入賞者を集めて、将来の優れたトップアスリートとしての成長を期することを目的とし、セミナーを実施した。

期 日：平成23年12月10日（土）～11日（日）

会 場：スポーツマンハウス鈴鹿

参加者：33名（8競技）

講 師：安達 俊亨 氏 相好体操クラブ

西村 明展 氏 三重大学医学部附属病院

平賀 久美 氏 (株)ハッピープロデュース

上野 俊明 氏 東京医科歯科大学大学院医歯学スポーツ分野

## エ スポーツ医・科学サポート

実施競技：3競技団体

スタッフ：延べ21名

対象者：監督、選手等延べ7,657名の参加を得た。

## オ 指導者養成

### (ア) ジュニア指導者研修会

事業内容：ジュニア選手の発達段階に応じた指導、育成の知識を習得するため、県内のジュニア指導者を対象に研修会を開催し、中長期的な視点に立った本県競技力の向上やジュニア選手の育成について、共通理解を深め、情報共有を進める。

期 日：平成24年2月26日（日）

会 場：三重県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場

参加者：83名（19競技）

内 容：講演 「選手を育てるために」

講師 吉田 栄勝 氏 財団法人日本レスリング協会 女子強化委員会 強化委員

(イ) 指導者研修会

事業内容：本県トップレベルの指導者に対し、最新の指導理論、スポーツ医・科学等に基づく知識等を習得するために研修会を開催し、短期的・中長期的な視点に立った本県競技力向上について、共通理解を深め、情報共有を進める。

期 日：平成24年3月3日（土）

会 場：スポーツマンハウス鈴鹿

参 加 者：59名(21競技)

内 容：講演「理論と実践」

講師 木村 昌彦 氏 横浜国立大学教育人間科学部教授

味の素NTC柔道専任コーチングディレクター

コーディネーター 杉田 正明 氏 三重大学教育学部教授

(2) 国民体育大会強化事業

国民体育大会や東海ブロック大会での成績向上のため、各競技団体が取り組む強化活動を支援することで、本県の競技力向上を図る。

ア 強化練習会の開催及び全国大会等への派遣

実施競技：31競技団体及び2クラブ

対 象 者：国民体育大会強化の中心選手及び指導者

事業内容：国民体育大会に向けた競技力向上を図るため、強化合宿等の実施及び全国大会等への参加を支援した。

参 加 者：選手・指導者延べ4,497名

イ アドバイザー派遣事業

実施競技：4競技団体

対 象 者：監督、選手、役員等延べ312名の参加を得た。

### 3 総合型地域スポーツクラブの育成推進

生涯スポーツ社会を早期に実現するため、地域住民の身近なスポーツ活動の場として期待される総合型クラブを育成し、地域住民による自主的・自発的な総合型クラブの組織化及び定着化に向けた支援を行った。平成16年度からの8年間で設立した総合型クラブ数は計21クラブとなった。

(1) 県内創設支援クラブ（1クラブ）

ア 平成22年度から継続クラブ（1クラブ）

ふたみふれ愛クラブ〔伊勢市〕（平成24年 2月26日 設立）

(2) クラブ育成アドバイザーの配置

総合型クラブ設立に向けた啓発活動及び創設支援クラブの設立や活動、クラブ運営全般について指導・助言するクラブ育成アドバイザーを配置した。

(3) クラブミーティングの開催

クラブ間の情報交換等を行うことにより、県内各地の総合型クラブの連携・強化やクラブマネジャー等、クラブ関係者の資質向上を図る会議を三重県教育委員会と共催し、6会場で開催した。

ア 伊賀ブロック：平成23年 8月 9日（火） 三重県伊賀庁舎 参加者10名

イ 中ブロック：平成23年 8月12日（金） 三重県松阪庁舎 参加者12名

ウ 南志ブロック：平成23年 8月23日（火） 伊勢市小俣総合支所 参加者25名

エ 東紀州ブロック：平成23年 8月26日（金） 三重県熊野庁舎 参加者 7名

オ 北ブロック：平成23年 8月29日（月） 三重県四日市庁舎 参加者24名

カ 全 体 会：平成24年 2月 5日（日） 鈴鹿スポーツセンター 参加者60名

講演：「総合型地域スポーツクラブの継続と発展への試案  
～地域や市場の実情とクラブの生きる道～」

講師： 築 瀬 歩 氏（愛知産業大学経営学部総合経営学科 准教授）

事例発表：「きそさきAZクラブの現状」

発表者 白 木 圭 司 氏（きそさきAZクラブ）

- (4) 三重県総合型クラブ連絡協議会（SCみえネットワーク）代表者会議の開催  
総合型クラブの定着・発展のため、設立した総合型クラブ関係者を対象にクラブ運営に関わる情報交換・協議や総合型クラブ間の交流事業を行う連絡協議会の代表者会議を開催した。  
ア 第1回：平成23年 6月 1日（水） 三重県体育協会事務局 会議室 出席者7名  
イ 第2回：平成23年12月 5日（月） 三重県体育協会事務局 会議室 出席者6名  
ウ 第3回：平成24年 2月 5日（日） 鈴鹿スポーツガーデン水泳場会議室 出席者3名
- (5) 公認アシスタントマネジャー養成講習会の開催  
総合型地域スポーツクラブマネジャー、スタッフ等から参加者を募り、日本体育協会の公認アシスタントマネジャー専門科目のカリキュラムを三重県教育委員会、（社）三重県レクリエーション協会と共催で開催した。  
ア 総合型スポーツクラブ講習会  
平成23年5月21日（土）～29日（日）3日間  
三重県総合文化センター 生涯学習センター 大研修室 資格取得希望者5名

## 4 広報

- (1) スポーツ活動の情報提供  
本県スポーツの普及振興に資するため、各種大会で活躍した選手・チームの成績をインターネットにおいて発信し、啓発宣伝を行った。
- (2) 法人のディスクロージャー  
公益法人としての社会的責務を果たすため、インターネット上において財務諸表等の情報開示を行った。また、日本体育協会から100周年記念事業の一環として、都道府県体育協会組織基盤整備費助成事業を受け、ホームページのリニューアルを行った。
- (3) 各種報告書の刊行  
本協会の事業に関わる冊子等を次のとおり作成・配布した。  
・スポーツ医・科学MIE第19巻

## 5 表彰

- (1) 平成23年度（財）三重県体育協会表彰式の実施  
第66回国民体育大会及び平成23年（暦年）に各種競技会で活躍した選手・監督（個人）を表彰した。  
ア 国民体育大会賞（別記名簿参照）  
選手、監督 176名  
表彰式 平成23年11月17日（木） プラザ洞津 2階「飛翔の間」
- イ 体育協会表彰  
表彰式 平成24年2月8日（水） プラザ洞津 2階「飛翔の間」  
・体育功労者（別記名簿参照） 1名  
・特別優秀選手及び特別優秀監督（別記名簿参照） 5名  
・優秀選手及び優秀監督、優秀チーム（別記名簿参照） 87名、4チーム  
・スポーツ優良団体（別記名簿参照） 2団体  
※平成13年度から本協会表彰と三重県スポーツ賞表彰を合同で実施している。

## 6 スポーツ指導者体制・組織の充実

- (1) 公認スポーツ指導者の養成  
ア 指導員  
地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたりるとともに、施設開放において利用者の指導支援を行う者を養成する講習会を実施した。

- (ア) 弓 道 (専門科目)  
期 日:平成23年10月8日～平成23年12月25日 (7日間・40時間)  
会 場:鈴鹿市武道館他  
参加者:15名

イ 上級指導員

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブ内指導者の中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町エリアにおいて、競技別指導にあたる者を養成する講習会を実施した。

- (ア) バレーボール (専門科目)  
期 日:平成23年7月2日～7月23日 (集合講習:3日間・20時間)  
会 場:鈴鹿国際大学  
参加者:37名
- (イ) 空手道 (専門科目)  
期 日:平成23年10月23日～12月4日 (集合講習:4日間・29時間)  
会 場:鈴鹿市武道館他  
参加者:13名
- (ウ) 共通科目Ⅱ (集合講習:2日間・14時間及び検定)  
期 日:平成23年10月29日～10月30日  
会 場:鈴鹿スポーツガーデン水泳場会議室他  
参加者:49名

(2) 県スポーツ指導者研修会の開催

指導者がスポーツに関する最新の知識・情報を獲得し、国民のスポーツに対するニーズを敏感に捉えて、実際の指導場面に活用できるようその資質を向上させるとともに、指導者の情報交換やネットワークづくりなど、相互の交流を目的として研修会を実施した。

- 期 日:平成23年6月5日(日)  
会 場:鈴鹿地域職業訓練センター  
参加者:118名  
内 容:講演Ⅰ部「私の考えるジュニア選手指導」  
講師 古谷 政徳 氏 (株式会社ジェイエスエス事業本部取締役本部長)  
講演Ⅱ部「トレーニングとコンディショニング  
～サッカー日本代表チームをサポートして～」  
講師 杉田 正明 氏 (国立大学法人三重大学教育学部教授)

(3) 県スポーツ指導者協議会の充実

本県スポーツ指導者の資質向上と相互連携を促進するため、県内各地域においてスポーツ指導者の活用を行うため諸事業を展開した。

- ア 全国指導者連絡会議への参加  
イ 指導者全国研修会への参加  
ウ 指導者の登録管理

## 7 スポーツ医・科学の研究と普及

(1) 国体選手の健康管理に関する調査・研究

本県国体参加選手361名に対しメディカルチェックを行った。また、精密検査を要する選手に対して、判定委員による再度のチェックを行い、その結果については競技団体を通じ指導助言をし、医学面からの事故防止に努めた。

(2) スポーツ医・科学調査研究事業

選手に対する指導法及び健康管理について、医学・科学面の専門家と学識経験者及び現場指導者からなるスポーツ医・科学委員会を設置し、科学的な選手強化研究を行うべく取り組んだ。  
スポーツ医・科学委員会の委員を中心に結成した実行委員会は、スポーツ医学班、体力科学班、スポーツ心理学班、コーチング・マネジメント班、スポーツ栄養学班に分かれ、指定選手の調査研究事業を進めながら、研究成果を指導者等にフィードバックするため、スポーツ医・科学セミナーを開催し、成果報告書として「スポーツ医・科学研究MIE第19巻」を発行した。  
ア 調査研究対象:三重県なぎなた連盟 (ジュニア選手) (1年目)

- イ 第19回三重県スポーツ医・科学セミナー 兼 スポーツ指導者研修会の開催  
 開催期日 平成24年1月19日（木）  
 場 所 三重県男女共同参画センター（三重県総合文化センター内）  
 参加者 202名（内、ドクター 7名、公認スポーツ指導員他 195名）  
 内 容 第1部 講演「サッカー育成年代のコンディショニング」  
 講師 早川 直樹氏（財）日本サッカー協会コンディショニングコーチ）  
 第2部 講演「選手のパフォーマンスを最大に引き出すコンディショニング法  
 ～その理論と実際～」  
 講師 脇元 幸一氏（医療法人社団 SEISEN 理事）

(3) 派遣事業

- ア 第66回国民体育大会ドクターズ・ミーティングの参加  
 期日《場所》 平成23年9月30日《山口市》  
 派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 1名
- イ 第66回国民体育大会本県選手団本部役員（帯同ドクター）活動  
 期日《場所》 平成23年9月30日～10月11日《山口県内》  
 派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 5名
- ウ スポーツドクター代表者協議会の参加  
 期日《場所》 平成24年3月3日《東京都》  
 派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 1名

## 8 スポーツ少年団の育成強化

- (1) スポーツ少年団の育成強化  
 スポーツ少年団組織の基盤となる団員、指導者の登録を推進しつつ、組織の充実と資質の向上に努め、スポーツ少年団の県外交流である全国スポーツ少年大会や競技別交流大会に参加した。
- (2) 国際交流  
 国際交流によりグローバルな視点で団活動を捉えることを目的とし、また相互交流により地域での活発化を図るため、第38回日独スポーツ少年団同時交流事業を実施した。
- (3) 県内交流  
 県内スポーツ少年団の交歓として県スポーツ少年大会・競技別交流大会・地域交歓会を開催し、団員多数の参加を得て青少年育成に努めた。
- (4) 指導者養成  
 指導者の資質向上により、更に充実した活動が行えるよう認定員養成講習会を県内6会場で開催したほか、将来の指導者を育成するシニア・リーダースクールへの派遣やジュニア・リーダー養成事業等を実施し、指導活動の強化と指導者の育成事業の促進を行った。
- (5) スポーツ少年団登録状況
- |        |           |             |
|--------|-----------|-------------|
| 登録少年団数 | 692団・29市町 | (昨年比 + 3団)  |
| 登録指導者数 | 3,549名    | (昨年比 + 21名) |
| 登録団員数  | 15,274名   | (昨年比 △175名) |
- (6) 事業の内容等
- ア 日独同時交流事業
- 派遣
- ・派遣期間 平成23年 7月20日～ 8月11日
  - ・本県派遣者 団 員1名 杉山 奈緒（伊賀市・新居スポーツ少年団）
- 受入
- ・受入期間 平成23年7月28日～8月1日までの4泊5日間、伊賀市において受け入れた。
  - ・受入人員 ドイツ・ヴェルテンベルグスポーツユース9名
  - ・行動内容 民泊家庭における生活体験、地元スポーツ少年団等とのスポーツ活動他

イ 各種スポーツ少年大会

事業名	開催地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
第49回全国スポーツ少年大会	岐阜県/国立乗鞍青少年交流の家	8/5～8	1	7	他、運営リガー5名参加
第33回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	北海道/札幌ドーム他	8/5～8	-	-	
第34回全国スポーツ少年団剣道交流大会	山梨県/小瀬スポーツ公園武道館	24.3/25～27	1	7	
第9回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	山形県/鶴岡市小真木原総合体育館他	24.3/24～27	3	9	
第42回東海ブロックスポーツ少年大会	愛知県/美浜少年自然の家	9/23～25	4	16	
第23回東海ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	愛知県/美浜少年自然の家	12/3～4	5	29	サッカー・ソフトバレー・バドミントン・ニュースポーツ
第33回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東海ブロック予選	静岡県/島田市営球場	6/18	4	13	出場:神前少年野球部(四日市市)
三重県スポーツ少年団競技別交流大会	伊賀市運動公園野球場他	4/30～5/1	-	16チーム	軟式野球
	県営サンアリーナ	6/4		220名	バドミントン
	鈴鹿河川緑地グラウンド	8/6		37チーム	ソフトボール
	ゆめドームうえの他	12/10～11		63チーム	バレーボール
	名張市総合体育館	11/26		62チーム	ミニバスケットボール
	津市立体育館	12/11		67名	卓球
四日市中央緑地公園内体育館	11/6	11/6	871名	剣道	
第42回三重県スポーツ少年大会	安濃中央総合公園内体育館	12/23	51	255	ドッチビー大会

ウ 指導者養成

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
認定育成員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	10/29・11/19	2		
	石川県青少年総合研修センター	10/22～23	1	-	
	チサンホテル新大阪	11/6	6		
東海ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	愛知県/邦和セミナープラザ	11/12～13	7	1	※団員はリーダー
認定員養成講習会	伊勢市	11/26～27	14	-	
	津市	12/3～4	36		
	桑名市	12/10～11	32		
	松阪市	12/17～18	31		
	伊賀市	12/17～18	33		
	四日市市	24.2/11～12	33		
母集団育成事業	伊勢市	3/18	34	-	

## エ リーダー養成

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
日本スポーツ少年団 シニア・リーダースクール	国立中央青少年交流の家	8/11～15	-	2	
第16回東海ブロックスポーツ 少年団リーダー研究大会	岐阜県/長良川スポーツプラザ	24.3/17～18	1	12	
三重県スポーツ少年団 ジュニア・リーダースクール	鈴鹿青少年センター	6/11～12	18	29	

## オ 地域活動の促進

事業名	会場地	期日	参加者数	備考
			指導者・団員	
地域交歓会	桑名市体育館競技場	24.1/15	132	桑員
	アソビックスあさひボウリング場	24.1/9	122	三泗
	鈴鹿青少年の森	24.1/15	675	鈴亀
	津市安濃中央総合公園内体育館	11/26	250	津
	大台中学校体育館	12/23	59	松阪多気
	伊勢市 大湊海岸	5/3	783	伊勢度会
	鳥羽市民体育館	9/4	449	鳥羽志摩
	上野運動公園野球場	24.1/15	917	伊賀
	尾鷲市体育文化会館	24.2/12	104	尾鷲北牟婁
	鶴殿運動場他	11/20	562	熊野南牟婁
	10ブロック		4,053	

## 9 大会の開催及び選手派遣

### (1) 国民体育大会東海ブロック大会

ア 国民体育大会第32回東海ブロック大会(平成23年度・三重県開催)

競技 32競技  
期日 平成23年5月21日～ 8月28日  
場所 3県13市2町  
参加数 2,845名(内、本県選手団 616名)

本県予選通過 23競技28種別(種目) ※ 別紙第32回東海ブロック大会成績一覧表参照  
(馬術:自馬競技の4県枠除く)

イ 第67回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会(成年男子)

期日 平成23年12月16日～18日  
場所 長野県北佐久郡軽井沢町  
参加数 19名

### 【成績】

本大会出場県:長野県、石川県、富山県、愛知県(開催地枠)

## (2) 第66回国民体育大会

期 日 本大会 平成23年10月1日～10月11日  
 但し、水泳・体操・クレール射撃は、9月 7日～9月15日

場 所 山口県

参加者 三重県選手団 406名

成 績 男女総合（天皇杯） 32位・ 858.5点（第66回冬・本大会）  
 女子総合（皇后杯） 44位・ 359.0点（第66回冬・本大会）

## 競技別成績（天皇杯）

## 第66回国民体育大会男女総合成績競技別一覧（入賞競技18）

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
1	自転車競技	58.0	10.0	68.0
2	テニス	45.0	10.0	55.0
4	軟式野球	40.0	10.0	50.0
6	ソフトテニス	45.0	10.0	55.0
7	レスリング	42.5	10.0	52.5
7	フェンシング	30.0	10.0	40.0
9	ラグビーフットボール	28.0	10.0	38.0
12	体 操	15.0	10.0	25.0
12	相 撲	7.5	10.0	17.5
13	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
18	ウェイトリフティング	29.0	10.0	39.0
19	陸上競技	43.0	10.0	53.0
20	馬 術	13.0	10.0	23.0
22	山 岳	3.0	10.0	13.0
23	水 泳	29.0	10.0	39.0
24	空手道	2.5	10.0	12.5
25	弓 道	9.0	10.0	19.0
37	ライフル射撃	4.0	10.0	14.0
小計	18 競技	468.5	180.0	648.5
スキー・スケート・アイスホッケー・サッカー・ボート・ボクシング・バレーボール・バスケットボール・セーリング・卓球・柔道・ソフトボール・バドミントン・剣道・カヌー・アーチェリー・銃剣道・クレール射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ			210.0	210.0
21 競技				
32 位	総得点 39 競技	468.5	390.0	858.5

## (3) 第67回国民体育大会冬季大会

## 〈スケート競技会〉

期 日 平成24年1月28日～ 2月1日

場 所 愛知県・岐阜県

参加者 三重県選手団 6名

成 績 男女総合（天皇杯） 29位・ 20.0点（スケート・アイスホッケー競技会小計）

## 〈スキー競技会〉

期 日 平成24年2月14日～2月17日

場 所 岐阜県

参加者 三重県選手団 32名

成 績 男女総合（天皇杯） 22位・ 11.0点（スキー競技会小計）

## (4) 各種競技会への協力

期 日	後援した大会名	開催地
4月29日	第25回三重県なぎなた選手権大会	津市
5月14日	三重県中学生学校対抗ソフトテニス大会	鈴鹿市
5月15日	第10回東海マスターズ陸上競技選手権大会	伊勢市
5月13日～15日	第61回東海五県軟式野球大会	津市
5月22日	第20回三重県武術太極拳フェスティバル	鈴鹿市
5月28日	第42回全国ママさんバレーボール大会三重県予選会	県内各地
6月4・5日	第44回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会	伊勢市
6月11日	平成23年度三重県中学生ソフトテニス選手権大会	鈴鹿市
6月9～12日	第24回全国ラージボール卓球大会	伊勢市
6月10日～12日	第24回オールジャパンレディスボウリングトーナメント	津市
7月9日	第26回三重県ゲートボール選手権大会	津市
7月30～8月2日	第25回全日本小学生女子ソフトボール大会	熊野市
8月2日～5日	平成23年度全国高等学校ゴルフ選手権大会	津市
8月2日～5日	平成23年度全国中学校ゴルフ選手権大会	津市
8月7日	第35回伊勢湾オープンヨットレース大会	津市
8月15日～17日	第41回中部日本地区選抜中学軟式野球大会	愛知県
8月20日～21日	第6回エンジョイサッカーO-40in三重	岐阜県
8月27・28日	第63回中部日本卓球選手権大会	伊勢市
9月9日～11日	第15回全日本シニアソフトテニス選手権大会	県内各地
9月11日	ノルディックウォーキング指導者講習会	津市
9月14日～15日他	ソニー生命カップ第33回全国レディステニス大会	鈴鹿市
9月17日他	第14回三重県障がい者スポーツ大会	県内各地
10月1日～2日	第36回三重県家庭婦人バレーボール決勝大会	県内各地
10月2日	2011がんばろう東日本支援大会(中日本セーフティー空手道選手権大会)	鈴鹿市
10月7日	第26回東海地域ゲートボール選手権大会	四日市市
10月16日	オリエンテーリング鈴鹿大会	鈴鹿市
10月30日	第7回全国ジュニア自転車競技大会	四日市市
10月30日	第4回全日本空手道連盟和道会三重県空手道競技大会	四日市市
11月13日	第15回コカ・コーラセントラルジャパンカップ三重県家庭婦人バレーボール大会	県内各地
11月19・20日	第13回オールマスターズスイミングフェスティバルin三重	鈴鹿市
11月23日	平成23年度三重県中学生新人ソフトテニス選手権大会	鈴鹿市
11月25日	第26回三重県選抜ゲートボール大会	伊賀市
12月3日～4日	第9回三重花菖蒲スポーツフェスティバル	鈴鹿市
12月11日	第29回三重県綱引選手権大会	津市
1月21日～22日	はつらつママさんバレーボールinなばり	名張市
1月21日～22日	第30回東海高等学校弓道選抜大会	伊勢市
1月22日	第2回ハンドボールと吹奏楽の競演	鈴鹿市
1月29日	第6回東海地区中学生弓道選手権大会	愛知県
2月4日～5日他	三笠宮賜杯第60回中部日本スケート競技・アイスホッケー競技大会	長野県
2月11日	第22回三重県青少年銃剣道大会	伊勢市
3月4日	「稼げる観光地づくり、スポーツを観光の力に」講演会・シンポジウム	志摩市
3月23日～25日	平成23年度第32回東海高等学校ラグビーフットボール普及指導講習会兼 第13回東海高等学校ラグビーフットボール7人制交流大会	鈴鹿市
3月26日～28日	平成23年度第23回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	伊勢市
3月29日～31日	第15回全国教職員ベテラン卓球大会	伊勢市
3月31日	Animon新体操クラブ 演技発表会	四日市市
	2011年泳げない子供を無くそう運動	県内各地

## 10 運営・財源充実

- (1) 本協会の目的である「県民総スポーツ」の普及と競技人口拡大の実現に向け、三重県教育委員会、加盟団体及び関係機関の協力を得ながら諸事業を推進するにあたり、安定した運営基盤確立のため、保有資産の効率的で安全な運用に努めた。その基本財産の運用については、国債及び地方債620,000,000円を平均利率（年）約1.617%で行った。
- (2) 本協会諸事業に賛同された県内外企業等119団体（個人）から賛助金として2,280,000円、県内29市町から5,566,251円の協力を得た。また、相互連携している（財）スポーツ安全協会三重県支部から200,000円の広告協賛を得た。
- (3) 公益法人の健全なる運営に資することを目的とする公益法人会計基準に沿って、公益認定制度に対応した平成20年度公益法人会計基準の導入を進めた。
- (4) 施設管理運営資産を活用し、新しい会計基準に適合する経理システムの構築のためにパソコンを購入した。また、体育施設管理士及び体育施設運営士の資格者を養成した。

## 11 県営スポーツ施設等の管理運営

- (1) 指定管理者の指定を受けて管理運営する県営スポーツ施設等の三施設については、第一期指定期間（平成18年度～20年度）に引き続き、平成21年度から第二期指定期間（鈴鹿スポーツガーデン及び総合競技場一五ヵ年、鈴鹿青少年センター一四ヵ年）の3年が経過した。これまで培ったノウハウを活かし利用拡大を図るとともに、県の中核施設としての使命を果たすべく関係団体との利用調整を通じて大会等の円滑な利用を目指すとともに、地域に根ざした拠点施設として、各施設の特徴を活かし利用者ニーズに応じた多種多様なスポーツプログラムや青少年の研修施設として生涯学習プログラムを提供し、スポーツ教室及び研修事業や創作体験活動の提供、施設主催カップ（冠）大会の開催及び無料開放イベント等を開催し、地域に愛される安全で安心して利用できる施設運営を心がけた。
- (2) 収益増に向けた取り組みを行いながら、事務をはじめとした効率化や節電等により経費削減を図り、収益を利用者の安全及びサービスの向上のために施設修理等の経費として充てた。

## 12 スポーツマンハウス鈴鹿の管理運営

当施設の三期目の管理運営は、鈴鹿スポーツガーデンの合宿利用のニーズに応える宿泊施設としての運営を行いながら、旅行代理店の仲介及びウェブ予約による受付を今期より開始し、一般の方々にも利用しやすい宿泊施設を目指して管理運営に取り組んだ。

中でも、鈴鹿スポーツガーデンの利用案内と合わせたフリーペーパーを市内各戸へ配布するなどの広報活動を行うことで、温浴施設の日帰り利用促進を行った。また、ランチバイキングで焼きたてパンの提供を行うなど一段と利用しやすく親しまれる施設として地域住民に広く知られる施設となったと思われる。

宿泊利用については、特に、水泳・サッカー・ラグビー競技の鈴鹿スポーツガーデンの利用団体が多く、大学、スイミングクラブ及び競泳ナショナルチームの合宿利用の定着化などもあって、一般利用を含めて年間約17,500人の利用となった。

その他に企業が実施する研修会をはじめ、老人会の会合、宴会利用及び弁当販売等の利用促進を図るため、近隣地区へのポスティング、大学等へのDM、新聞折り込み（ガーデンとの合併折り込みちらし）等によって広報活動を行った。

### 管理運営業務委託

- ・委託期間 平成21年4月1日から平成26年3月31日
- ・委託先 株式会社チャンピア 代表取締役 中西 譲